

児童発達支援事業における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 4月 13日

公表: 令和 2年 4月 15日

事業所名 児童発達支援センターすまいるきっず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		療育体制の基準を満たしており、各活動に合わせたスペースを十分確保できています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準を上回っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内はバリアフリーです。個々に合わせたスケジュールや構造化した環境を準備し、幅広く障がい特性に応じた環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の掃除を徹底しています。身辺自立やサーキットを行うスペースを分けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ケース会議や毎朝のミーティングでは、基本出勤者全員参加しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		日頃から保護者様との関わりを通し、相談しやすい関係づくりに努めています。保護者評価表やアンケートを活用しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所向け自己評価表と保護者向け評価表をホームページにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		法人が第三者による評価をうけています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		保護者向け研修を通して資質の向上を行っています。又、法人内研修を通して学んでいます。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的にあセスメントとモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化したアセスメントツールを使用し、評価を行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「発達支援」「家庭支援」「地域支援」を盛り込んだ具体的な計画を立て、総合的な支援方針を設定するようにしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に基づいた内容を盛り込んだ活動を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎週サーキット会議等を行い、チームで活動内容を決めていきます。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動が固定化しないよう年間計画を立て、それを基に月案、週案を検討しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個々に応じて個別活動・集団療育を組み合わせています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝行なうミーティング時に確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌朝のミーティングにて情報共有を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回保護者様と職員と共有した療育記録やミーティングの記録を残しています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回モニタリングを基本に、変化がある時はその都度、支援計画書の見直しを行っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者及び担当職員が参加しています。		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地域の保健師、福祉課、相談支援事業所等と連携をとっています。		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当する利用児がいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当する利用児がいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		療育相談員や地域の保健師、心理士を通して連携を図っています。また、必要に応じて電話や面談を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		必要に応じて学校のコーディネーターや養護教諭、療育相談員等と情報共有を行い、連携を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		熊本県こども総合療育センターの支援や、発達障害者支援センター、地域療育センターの助言・研修を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			利用児の通園する園等に役割をお願いしています。今後も連携を図っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		自立支援協議会の子ども部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○		親子療育のため、毎回療育時に保護者様と共通理解できるよう努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		親子療育を通して行っています。また、今年度は希望を募り、ペアレント・トレーニング支援を行いました。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		契約時や契約変更時にわかりやすい言葉で説明を行うよう心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○		個別支援計画書を提示しながら支援内容や手立てについて説明を行い、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		親子療育や来所の際に、必要な助言と支援を行っています。また、必要に応じて相談支援専門員や療育相談員等と連携を図っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		親の会の活動に協力をしています。また、ペアレントメンターと連携をおこなっています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○		現場の職員で対応が難しい時は、療育相談員や関係機関に助言を仰ぎ対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		行事予定表を作成しています。又、今年度より同意を得た保護者様に対して一斉メールができるよう体制を整えました。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している		○		同意書をとっています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		メモを活用するなど、その方に合った方法を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		同法人の行事(秋祭り等)や地域福祉交流館FindingRを通して、地域に開かれた事業運営を図っています。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを策定すると共に、法人内研修を通して救急法や感染対策キットの使用方法などを学んでいます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		法人全体の訓練と事業所内の訓練を計画的に行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		主にアセスメント時に確認を行い、てんかん等の対応方法について保護者の方に記入していただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	親子療育のため保護者様が対応されています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		過去の事例を綴り、いつでも職員が閲覧できるようにしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内に委員会があり、虐待防止に向けて調査や研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束が必要な場合は子どもや保護者様へ説明を行い、個別支援計画書に記載し了承を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。